

委員意見とその対応について

○田中副委員長

ご意見	ご対応
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史上の位置づけがわかるゾーニングを考えてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーニングについては、発掘調査・研究、その成果を活かした遺構の復原、表示にかかる状況の違いを主とし、これまでの利用状況を勘案しつつ、公園としての機能の充実を図るように区分、位置づけを行うようにしました。 ・主要な遺構はいずれも「歴史・文化体感・体験ゾーン」に位置づけており、その中で地区、施設ごとに歴史上の位置づけがわかるような整備やソフト面の取組を行っていきたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・恒久性のある基本計画として、道路や鉄道の取り扱いがわかるものとすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成型の公園計画については、全ての道路、鉄道が移設された段階の計画を策定したいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査・研究の成果に伴い、フレキシブルな対応が可能なものとすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の「歴史・文化資産の保存・活用」において「今後も継続される発掘調査・研究により蓄積される考古学的知見を(中略)最大限に生かしていく」ことを明示するなどしました。 ・その一つとして、発掘調査・研究の成果に応じ、適宜、ゾーンの見直し(「歴史・文化体感・体験ゾーン」の追加)を行うことを考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・展示において、研究成果をどう活かしていくかというような、展示の基本方針をつくるようにすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入すべき機能にある「体感・体験的歴史・文化学習機能」の具体的な展開方針として、「継続的な発掘調査・研究により、今後とも蓄積・充実化していく考古学的知見の積極的な活用を図る」ことを明示しました。 ・今後、管理運営計画を策定していく中で、展示についても、より具体的内容を検討していきたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備について、予め具体的なソフトのコンセプトを盛り込んだものとすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入すべき機能にある「体感・体験的歴史・文化学習機能」の具体的な展開方針として、「復原した遺跡を用いた催しや歴史・文化体験学習プログラムの整備」などを明示しました。併せて、管理運営方針の基本的な考え方として「平城宮跡の施設や空間等を存分に活用し、誰もが楽しみながら詳しく往時の歴史・文化を識ることのできるような運営管理を行う」ことを明示しました。

○朝廣委員

ご意見	ご対応
<ul style="list-style-type: none"> ・現在も生きている、日本人のアイデンティティを感じさせる場所であり、世界に誇れる日本の始まりの地であると位置づけて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念及び基本方針の前文において「平城宮跡は(中略)我が国の歴史と文化の始まりの地として、世界に誇ることのできる国民共有の財産であり(後略)」ということを明示しました。

ご 意 見	ご 対 応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広大なスケール感が魅力であり、これを活かすようにすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本方針の「古代国家の歴史・文化の体感・体験」において「誰もが楽しみながら古代国家の歴史・文化を体感し、体験的に学ぶことができるように(中略)空間スケールを活かした復原(後略)」などを明示するなどしました。 ・ その一つとして、主要な遺構については、往時の平城宮の姿、広がりを感じてもらうため、十分な原位置での実物大の復原又は表示を行うことを考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺の景観が観光資源の一つであり、今後どうしていくかを考えるようにすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺整備の方向において、公園整備と併せた取組として、周辺景観の保全・形成が必要であることを提示しました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ おもしろく見せるということから、本物をいかに活かすかということを考えるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入すべき機能にある「体感・体験的歴史・文化学習機能」の具体的な展開方針として、「地下遺構の公開や出土品の展示など、本物が持つ力を活用する」ことを明示しました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 溝の改良やエコカーの導入など、バリアフリーに配慮するようにすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に、園内の主要な歩行動線(園路、広場による確保を想定)について、基本的な考え方として、歩きやすさに配慮することを明示しました。 ・ また、導入すべき機能にある「利用サービス機能」の具体的な展開方針として、「園内移動を円滑にするためのシステムの導入を検討する」ことを明示しました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空間にマッチした形の休憩所を設けるようにすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設計画において、「各ゾーンにおいて、利用動線や空間などに留意しつつ、過剰サービスにならないよう適宜確保すること、また「歴史・文化体感・体験ゾーン」に設ける場合は(中略)目立たないような工夫を行う」ことを明示しました。 ・ 今後、具体の位置、仕様等を定めていきたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 朱雀門から宮跡内に入ってくる来訪者がきちんと流れるような動線を整備すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動線計画において、園内の主要な歩行動線として、朱雀門から第一次大極殿に至る直線的なルートを検討することとしております(なお、当該ルートについては、往時の宮内道路を踏襲した幅員構成等にしたいと考えております)。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元のボランティアだけでなく、観光客もボランティアになるような仕組みを考えるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本方針の「国営公園として利活用性の高い空間形成」において「地域住民・NPOをはじめとした多様な主体が管理運営に参画(後略)」ということを明示しました。併せて、管理運営方針の基本的な考え方として「平城宮跡内で行われている既存のボランティア活動等に配慮しつつ、地域住民やNPOをはじめ、多様な主体の参画を通じて、管理運営の充実を図っていく」ことを明示しました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的な活用を行う上で必要となる電源、水道設備を確保すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設計画において、「配管等に際しては地下遺構の保存に十分配慮」した上で「今後の計画内容に応じて設置していく」ことを明示しました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間利用も想定し、外灯整備なども考えるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設計画で、主要動線となる園路において設置検討を行うことを明示しました。

○尼崎委員

ご意見	ご対応
<ul style="list-style-type: none"> 散歩に来る者、観光に来る者のどちらもが利用可能な空間整備を行うべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ゾーニングにおいて、主に歴史・文化体感・体験学習を行うゾーンとその他の多目的なレクリエーション活動を行うゾーンを、大別することにしました。
<ul style="list-style-type: none"> 便所は、キーとなる場所において必要量のみ、過剰サービスにならないよう、整備すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設計画において、「利用予測に基づく必要量を、利用拠点や公園全体の施設配置、利用動線などを勘案しながら、偏りのない配置で確保する」ことを明示しました。 今後、具体の位置、規模等を定めていきたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> 発掘の様子や復原の過程を段階的に見せるプロセス展示のような考え方があり得るのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入すべき機能にある「体感・体験的歴史・文化学習機能」の具体的な展開方針として、「発掘調査から復原整備に至る一連の作業を適宜公開していく」ことを明示しました。
<ul style="list-style-type: none"> 交通の問題について、奈良市の周辺の名所なども含め、よく考えるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺整備の方向において、公園整備と併せた取組として、広域交通ネットワークの整備が必要であることを提示しました。
<ul style="list-style-type: none"> 公園整備に当たっては、近鉄線の問題をはじめとした、段階的な整備のあり方を考えるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 完成型の公園計画と併せ、暫定型の公園計画として、鉄道の存置されている段階の計画を策定しておきたいと考えております。

○上野委員

ご意見	ご対応
<ul style="list-style-type: none"> 常に発掘中であることに意味があるという発想ができないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入すべき機能にある「体感・体験的歴史・文化学習機能」の具体的な展開方針として、「地下遺構の公開」や「発掘調査から復原整備に至る一連の作業の適宜公開」を明示するなど、常に発掘中であることを長所とした取組を展開していきたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> 奈良の歴史体験の核になりうる場所として、他の歴史的な空間と結びつきをもたせる、一体感を感じられる場所とするという観点を盛り込むべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 一つとして、導入すべき機能にある「体感・体験的歴史・文化学習機能」の具体的な展開方針として、「視点場の設定(中略)など、宮跡(みやあと)に立ち、周囲を見渡すことで、往時に思いを馳せることのできるような景観形成を行う」旨を明示しました。 また、「歴史・文化交流拠点機能」の具体的な展開方針として、「(前略)古都奈良全体に関する歴史・文化情報を国内外に発信する」ことを明示しました。

ご意見	ご対応
<ul style="list-style-type: none"> スケール感を体感できる場所にすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針の「古代国家の歴史・文化の体感・体験」において「誰もが楽しみながら古代国家の歴史・文化を体感し、体験的に学ぶことができるように(中略)空間スケールを活かした復原(後略)」などを明示するなどしました。 その一つとして、主要な遺構については、往時の平城宮の姿、広がりを感じてもらうため、十分な原位置での実物大の復原又は表示を行うことを考えております。
<ul style="list-style-type: none"> 2010年(※平城遷都1300年祭)において、どのような公園整備がなされていくかをきちんと告知すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 今般の基本計画策定以降の取組として、積極的に実施していきたいと考えております。

○大西委員

ご意見	ご対応
<ul style="list-style-type: none"> 公園のあり方の上に憲法のようなものがあれば基本計画がわかりやすくなるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回、公園に導入すべき機能を導くための上位概念である基本理念及び基本方針をお示しました。
<ul style="list-style-type: none"> CGなどを利用し、古代と現在をつなぎ、昔の風景や施設のつくりかたの違いなどがわかるとおもしろいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入すべき機能にある「体感・体験的歴史・文化学習機能」の具体的な展開方針として、「(前略)VR等新技術の導入も視野に入れた興味を引くわかりやすい解説(後略)」を明示しており、具体の運営メニューとして検討していきたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> 平城京におけるヒーローのストーリーをつくりドラマ化するなど一般へのわかりやすい紹介を通じ、昔の空間をいかに現在の者に思い起こさせるかが大切でないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針の「古代国家の歴史・文化の体感・体験」に示した「誰もが楽しみながら古代国家の歴史・文化を体感し、体験的に学ぶ」ことの一方策として、考えてみたいと思います。

○佐藤委員

ご意見	ご対応
<ul style="list-style-type: none"> 古代日本の歴史・文化を理解するための整備・活用を行うということを念頭に置くべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針の「古代国家の歴史・文化の体感・体験」において「古代国家の歴史・文化を体感し、体験的に学ぶことができるように」(以上を目的として)施設整備やソフトの取組を行うことを明示しました。
<ul style="list-style-type: none"> 100年、200年後を見通した計画を立てて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 恒久的に設置される公園の基本計画として、そのように努めたいと考えております。

ご意見	ご対応
<ul style="list-style-type: none"> ・建物を復原するだけでは意味がなく、歴史・文化を理解してもらう努力が必要であり、ソフトの整備を重視すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営方針の基本的な考え方として、「平城宮跡の施設や空間等を存分に活用し、誰もが楽しみながら詳しく往時の歴史・文化を識ることのできるような運営管理を行う」ことを明示しており、これをもとに、今後、具体の運営メニューを検討していきたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・奈良文化財研究所と連携し、最新の調査研究成果を発信していくような機能を持つべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入すべき機能にある「体感・体験的歴史・文化学習機能」の具体的な展開方針として、各種の取組を記しており、これらを実現していくことで、最新の調査研究成果を楽しくわかりやすく提供していくようにしたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・整備活用に当たり、文化庁や奈良県、奈良市、奈良文化財研究所との連携を密にする必要があり、それがスムーズにいくような方策を考えるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営方針の基本的な考え方として、「関係機関と明確な役割分担を行い、連絡調整を密にし、責任ある体制での公園の管理運営を行う」ことを明示しました。 ・今後はその具体化に向けた取組を行ってまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・公園の名称について、皆にわかりやすいものを考えるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の正式名称とは別に、「平城宮跡歴史公園」との呼称を考えたいと思います。

○西村委員

ご意見	ご対応
<ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査と公園とが連動して成長していくような特異性を表現できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の「歴史・文化資産の保存・活用」において「今後も継続される発掘調査・研究により蓄積される考古学的知見を(中略)最大限に生かしていく」ことを明示するなどしました。 ・その一つとして、発掘調査・研究の成果に応じ、適宜、ゾーンの見直し(「歴史・文化体感・体験ゾーン」の追加)を行うことを考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史が地下に埋まっていることを尊重する、大切にすると、地下にリザーブがあることを強調すると、特殊でユニークなものになるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の考えを、ゾーニング(ゾーンの位置づけ)に反映するようにしました。
<ul style="list-style-type: none"> ・宮跡が、過去にどのようなものであったかをきちんと伝えるようにすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入すべき機能にある「体感・体験的歴史・文化学習機能」の具体的な展開方針として、各種の取組を記しており、これらを実現していくことで、誰もが楽しみながら往時の歴史・文化を詳しく学ぶことができるようにしたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・過去の発掘状況を写真やVRなどの方法でわかりやすく伝えていくことも大切なのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入すべき機能にある「体感・体験的歴史・文化学習機能」の具体的な展開方針として「(前略)VR等新技術の導入も視野に入れた興味を引くわかりやすい解説(後略)」を明示しており、具体の運営メニューとして検討していきたいと考えております。

ご 意 見	ご 対 応
<ul style="list-style-type: none"> ・現在どのようなことが行われているかという情報が常に出されているようにすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入すべき機能にある「利用サービス機能」の具体的な展開方針として「園内のリアルタイムの利用情報を積極的に発信する」ことを明示しました。
<ul style="list-style-type: none"> ・広大な面積であり、一定の規模ができた段階でも、あるレベルの利用が完結していく必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今般、完成型の公園計画と併せ、その途中段階でも、本公園が担うべき機能を発揮できるような暫定型の計画(具体的には鉄道の存置されている段階の計画)を策定することとしております。

○藤井委員

ご 意 見	ご 対 応
<ul style="list-style-type: none"> ・展示・学習施設等の充実等については、これまでの実施内容を踏まえた上でそれを踏襲するのか新たなことを行うのかを述べるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入すべき機能にある「体感・体験的歴史・文化学習機能」の具体的な展開方針として、「(前略)VR等新技術の導入も視野に入れた興味を引くわかりやすい解説(後略)」を明示しているように、新たな取組も実施していきたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査・研究から建物復原に至るまで、途中段階での仕掛けの盛り込みがあつてよく、総じて遺跡の色々な楽しみ方を提供できる場であるとよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入すべき機能にある「体感・体験的歴史・文化学習機能」の具体的な展開方針として、「発掘調査から復原整備に至る一連の作業を適宜公開していく」ことを明示しました。

○田辺行政委員

ご 意 見	ご 対 応
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な考え方の中に、調査研究と連携して発展していく公園ということが打ち出せないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の「歴史・文化資産の保存・活用」において「今後も継続される発掘調査・研究により蓄積される考古学的知見を(中略)最大限に生かしていく」ことを明示するなどしました。